



報道関係者 各位

人権週間記念のつどいを開催いたします

第1部 映画 MINAMATA 上映会

第2部 アイリーン・美緒子・スミス氏の講演会

～ユージンと私のMINAMATA～

大東市では、毎年12月4日から10日の「人権週間」に、改めて人権について身近に考えていただくとともに、より一層の人権意識の高揚を図るため「人権週間記念のつどい」を開催しています。

今回は、ジョニー・デップさん主演の映画「MINAMATA」の上映会およびアイリーン・美緒子・スミスさんの講演会「～ユージンと私のMINAMATA～」を開催します。

イベントを通じて、あらゆる差別のない人権が尊重された明るいまちづくりの実現に向けて人権を身近に感じ、理解し、考えるきっかけとなればと思います。

ぜひ、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

《イベント概要》

日時：令和5年12月8日(金)

午後6時3分開演（午後6時開場予定）

場所：サーティホール(大東市新町13-30)

JR住道 駅から約500m

無料駐車場有り

定員：先着1,000名 ※入場整理券要

料金：無料

その他：バリアフリー版(字幕)

要約筆記・手話通訳あり



※ご取材いただける場合は、お手数ですが下記担当者までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

大東市 人権室 担当 井上・池田 TEL:072-870-0441(直通)

■ 参考資料

《映画 ストーリー》

1971年、ニューヨーク。アメリカを代表する写真家の一人と称えられたユージン・スミスは、今では酒に溺れ荒んだ生活を送っていた。そんな時、アイリーンと名乗る女性から、熊本県水俣市にあるチッソ工場が海に流す有害物質によって苦しむ人々を撮影してほしいと頼まれる。水銀に冒され歩くことも話すことも出来ない子供たち、激化する抗議運動、それを力で押しえつめる工場側。そんな光景に驚きながらも冷静にシャッターを切り続けるユージンだったが、ある事がきっかけで自身も危険な反撃にあう。追い詰められたユージンは、水俣病と共に生きる人々にある提案をし、彼自身の人生と世界を変える写真を撮る

《講師プロフィール》

●アイリーン・美緒子・スミス 氏 プロフィール

1950年 東京生まれ。水俣病取材のため、水俣に3年間住む。

1975年 写真集「MINAMATA」(英語版)をユージン・スミスと出版。

1980年 写真集「MINAMATA」の日本語版「水俣」を出版
(W.ユージン・スミスと共著)

1983年 コロンビア大学で環境科学(公衆衛生学部)修士号取得。

1983年～原発の安全性の問題に取り組み、1991年に脱原発、プルトニウム利用問題などに取り組む市民グループ「グリーン・アクション」を設立。

2021年 写真集「MINAMATA」(日本語版)を再出版。

現在は NGO グリーン・アクション代表、(有限会社) アイリーン・アーカイブ社長、水俣写真家の眼プロジェクト理事を務める。



■ 会場図

